



学校法人あけぼの学園
幼保連携型認定こども園 あけぼのほりえこども園
大阪府大阪市西区北堀江4-2-10
TEL:06-6531-0808
<https://akebono.ed.jp/horie/>



学校法人あけぼの学園 あけぼのほりえこども園

 2022年度 Instruction 



【教育目標】

全ての生活から健全な心身を育てる
全ての生活からよく考える力を育てる
全ての生活から愛情と自立心を育てる

学校法人あけぼの学園は、1954年に大阪府豊中市で産声を上げました。現在は学校法人あけぼの学園及び社会福祉法人あけぼの事業福祉会として、豊中市内に乳幼児施設計7施設と、大阪市西区北堀江であけぼのほりえこども園の運営を行っています。

当園は、大阪市立堀江幼稚園を引き継ぎ「幼保連携型認定こども園 あけぼのほりえこども園」として2019年4月より地域の多様な子どもたちの受け入れを始めました。私たちは、子どもたちの育ちを第一義に考え、子どもも大人も共に育ち合いながら地域に根差す施設運営を行っていきたくと考えています。

「あけぼのほりえこども園」は0歳から5歳までの子どもたちの定員約300人、職員は総勢50人超の大きな乳幼児施設です。多くの子どもたちと多様な大人が生活する場所ですので、はじめは少し戸惑うことがあるかもしれません。皆で話をしながら、協力しあって、素敵な園にしていきたいと思えます。

一方で、皆さんがイメージしていらっしゃるであろうこれまでの幼稚園や保育園とはきっと違う点がたくさんあります。ある人にとっては心躍るような、ある人にとっては聞いた事もないような「こだわり」のある園です。したがって、入園に関しては我々の考え方をご理解・ご賛同いただいた上でお決めいただきたいと思えます。これは、我々が子どもたちにとって大切なことが何かを日々探求し、一人ひとりの育ちのために邁進する中で、保護者ともその価値観を共有し、子どもたちの育ちをより豊かなものにするためです。

近年、“乳幼児教育の質が生涯に亘る”ということが様々な研究を通して立証されています。そしてまた、乳幼児期における非認知能力・社会的能力の育みこそ、小学校以降の認知能力を形成する土台になることも分かっています。学力テストは、これまでのようなどの程度知識があるのかという詰め込み教育を試す問題や、正解に辿り着くための計算などではなく、知識や方法をその局面でどのように使うことができるのかの判断を試すようなものにどんどん変わっています。大学入試のあり方も工夫や協調性を問うAO入試が増え、ペーパー試験だけの大学はどんどん減少します。

現代を生きる子どもたちが大人になる頃、今存在する65%の仕事は存在しなくなるとも言われています。10～20年後には47%の仕事が自動化されていくという研究結果もあります。これから生き抜く子どもたちにとって、最善の最初学歴の場を、ここあけぼのほりえこども園でスタートし、子どもたちの大きな可能性をより伸ばすため、関わるすべての人たちと共に協力し、努力したいと思えます。

あけぼのほりえこども園園長 安家 力

①子ども中心主義

価値の中心は常に子どもです。どんな時でも子どもを中心に考えます。大人にとって都合の良いことを理由に決めることはありません。常に子どもの視点に立って、判断をします。

②子どもの育ちを肯定的に捉えます。

ついつい否定的に捉えてしまいそうな子どもの姿。見方を変えれば一人一人の子どもの育ちに気づきます。

③日々の保育の取り組み、プロセスを重視します。

見栄えを意識した発表会のために、日々保育で取り組みをすることはありません。行事を保育の目的にせず、日々の保育の延長線上に行事を位置づけます。出来栄や大人の感動を呼ぶような保護者目線の保育ではなく、保育の繋がりを大切に子どもたちの小さな変化、成長を分かち合います。

④一人一人が主体的に選択して遊び込む遊びに重きを置きます。

文字や数、英語など、小学校以降に積み上げていく認知能力を積極的に教えることはありません。その代わりに、目移りするほど充実した保育環境を整えて、子どもたちの遊びの選択肢の幅を確保します。幼保連携型認定子ども園教育・保育要領で示されている、小学校就学前までに育てほしい10の姿、つまり生きる力、やり抜く力、忍耐力、協調性などの「非認知能力・社会（情緒）的能力/技能」を、遊びを通して様々な角度から育てます。

⑤子どもたちの自由を保障します。

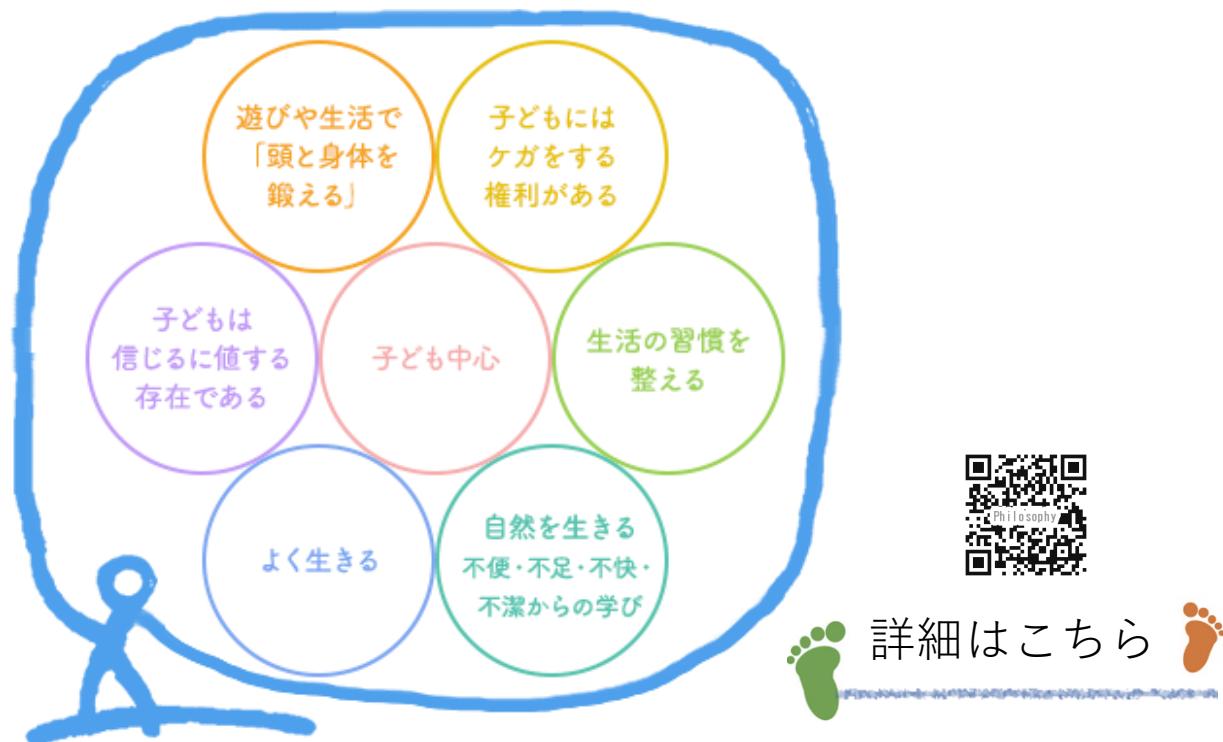
大人の都合に合わせた時間を過ごすことより、子どもたちの主体的な考え方で納得しながら日々過ごすことの方が大切です。それぞれの子どもが自ら考えることを大切にします。そこには自由の権利が存在します。一方で、自由の権利を行使するためには、他人の自由を侵害しないというルールも存在します。決して自由放任ではなく、わがままが許されるわけではなく、決められたルールの中で最大限の自由を保障しながら、それぞれが納得して生活できる環境を整えます。

⑥ケガをするのは子どもの権利と呼びます。

法人の教育・保育理念にも掲げている通り、小さなケガもしないように、とにかく安全面の配慮ばかり、禁止事項ばかりでつまらない環境を作ることにはしません。園庭は敢えて凸凹にし、日々バランス感覚の強化を意図的に構成します。小さなケガが大きなケガの予防となるからです。思いきり遊べるからこそ、子どもたちの危機管理能力も向上します。擦り傷を作った子どもを見て、今日もよく遊んだと共感する、そんな感性を関わる大人が共有します。

⑦保護者の皆さんにご協力・ご参加いただきます。

素敵な園にするために、保護者の皆さんにご協力いただくことが沢山あります。子どもたちが日々過ごす場所。満身に遊び込める場所。様々な形で保護者の皆さんの力をお借りします。また、保護者同士、せっかくここで出会えたのですから、子どもたちが友達同士になれたのと同じように、仲良くなっていただきたい。そして、ご近所付き合いができるようなそんな保護者集団になってもらいたいです。お互いに助け合い、気持ちのいい迷惑の掛け合いをしながら子育てを支え合える関係づくりをしましょう。



詳細はこちら

内訳	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
1号				78	78	78	234
2号				12	12	12	36
3号	9	11	12				32
計	9	11	12	90	90	90	302

【幼保連携型認定こども園とは何か】

認定こども園とは、幼稚園子ども（1号認定児）と保育園子ども（2・3号認定児）が混在する施設です。年齢も0歳児から5歳児年長組までと幅広く、1号認定児の教育時間終了後（14時以降）も、18:00（延長保育は除く）まで保育を受ける2・3号認定児がいます。基本的には2・3号認定児の保護者の方は就業をされており、その就労形態に応じた認定を受け、保育を受けられる時間が決定されます。

あけぼのほりえこども園は、30人ほどの乳児と、270人の幼児、幼児は1号認定児と2号認定児が混在した認定こども園です。幼児はそれぞれのクラスで学級担任制を取ります。教育時間終了後、2号認定児は長時間保育室へ移動し、長時間保育の担任の下で3～5歳の異年齢の縦割り保育を受けるという流れになります。

【一日の流れ（例）】

	1号認定児	2号認定児	3号認定児
7:00			
8:00		順次登園 選択遊び	順次登園 選択遊び
9:00	登園・選択遊び		
9:30	朝の集い		間食・選択遊び
10:00	選択遊びor設定保育		昼食
11:30	昼食		
12:30	選択遊びor設定保育		午睡
14:00	降園（預かり保育）	長時間異年齢保育	おやつ
15:00		おやつ	
16:00		選択遊び 順次降園	選択遊び 順次降園
17:00			
18:00			

【年間行事予定】

	行事内容
4月	入園式・進級式 親子遠足・個人懇談
5月	
6月	クラス懇談会
7月	にじいろコンサート
8月	夏休み（1号）
9月	祖父母招待日
10月	きらりんぴっく
11月	あけぼのほりえフェスティバル 秋の遠足・個人懇談・ お泊まり遠足（年長）
12月	わくわくミュージアム・おもちつき
1月	
2月	おはなしあそび会・個人懇談 お別れ遠足（年長）
3月	卒園式・修了式

(注)
・時期などが変更になる場合があります。
・2021年度は、新型コロナウイルスの影響により実施できなかった行事があります。

【保育料・その他費用（2022年度予定）】

内訳	1号（3～5歳）	2号（3～5歳）	3号（0～2歳）
保育料	無償		大阪市の基準に準ずる
入園金	50,000円	50,000円	50,000円
進級費	10,000円	10,000円	0円
特定徴収金（月額）	10,000円		0円
給食費（月額）	7,500円	7,500円	0円
布おむつ（月額）	0円	0円	0歳：4,450円 1・2歳：3,190円
布団リース（月額）	0円	0円	1,150円（希望者）
保護者会費（月額）	800円	800円	800円

※特定徴収金・給食費・PTA会費は1号認定児の長期休業期間中でも発生します。

（一年間の経費を12か月に割り戻しているため）

※その他実費費用が発生するものがあります。（写真・アルバム代等）

※乳児の布おむつ代については使用しなくなった翌月より負担無しとなります。

※入園金・進級費は納入後の返金はありません。

※各費用は今後変更になる可能性があります。

【入園と同時に購入が必要なもの】

	品名	色	サイズ	価格
1	連絡帳（幼児）/ハンドブック（乳児）	-	-	250円 / 420円
2	食器代（共有）	-	-	3,500円
3	氏名ゴム印	-	-	210円
4	クラスカラー帽子	各クラス色	-	940円
5	木製名札（名札・ひも共）	-	-	300円
6	保護者用名札（2枚組）	-	-	600円

幼児計 ¥5,800円分 / 乳児計 ¥5,970円分



【幼児向け各種用品代】



	品名	色	サイズ	価格
1	ポロシャツ	白・ピンク	100～130 cm	2,500円
2	ドライTシャツ	ピンク・緑	100～130 cm	2,100円
3	綿Tシャツ	オレンジ・黄緑	100～130 cm	1,500円
4	ハーフパンツ	紺・ベージュ	100～130 cm	2,700円
5	トレーナー	グレー	100～150 cm	3,000円
6	通園帽子	ベージュ	54・56・58 cm	2,000円
7	レインコート	黄色	身丈 65・70・75・80・85 cm	3,000円
8	割烹着エプロン	（年少12月から使用）	110・120 cm	1,700円
9	上靴	（年少12月から使用）	14～21 cm（0.5 cm単位）	1,700円
10	乾布摩擦タオル	オレンジ	one size	600円
11	通園カバン	紺	one size	3,700円
12	鍵盤ハーモニカ	（年中から使用）	one size	6,000円
13	道具箱	-	one size	900円
14	クレパス	-	one size	850円
15	はさみ	-	one size	300円
16	粘土	-	one size	400円
17	粘土ケース	-	one size	270円
18	粘土ボード	-	one size	350円
19	カスタネット	（年少から使用）	one size	300円
20	リングベル	（年少から使用）	one size	500円
21	のり	-	one size	90円
22	自由画帳	-	one size	300円

※価格は今後変更になる可能性があります。

※通常は裸足保育ですが、避難靴として園で上靴をお預かりしています。

※3号認定は2歳児からユニフォーム・保育用品の購入が必要です。

※1～5は種類・購入数量とも選択購入ですが、平均購入金額は34,000円程度です。

※幼児は1の白ポロシャツ及び4の紺のハーフパンツが正装です。必ずご購入ください。

【特定徴収金（上乗せ徴収）について】

1号・2号認定の幼児になると、特定徴収金という形で月々10,000円の費用徴収を行います。

- ①国の配置基準を超えた職員配置
- ②職員の処遇改善
- ③平均水準を超えた園庭・保育室環境に対する環境充実費・環境整備費
- ④子どもたちが惜しみなく活動に使うことのできる保育教材費

上記4項目に対することに使用します。

通常の国の基準を超えた人員配置により、より細やかに子どもたちの小さな成長に目を向けられるように人員配置を行います。それに加え、子どもたちが安心して遊びに没頭できる充実した環境を更に整えていきます。

※国の情勢などにより、年度の途中でも費用が変更になる場合があります。

【預かり保育について（1号認定児）】

月曜日から金曜日までの教育時間終了後、保護者の都合に応じて利用することができます。予約は専用の予約システムから予約いただきます。

通常保育日	14：00～17：00	600円	定員30名
午前保育日	11：30～17：00	1200円	定員30名
長期休業日	9：00～17：00	1600円	定員30名

- ※各学年の教育時間終了時よりお預かりします。
- ※午前保育日・長期休業中の利用はお弁当持参です。
- ※17：00を超えての利用はできません。

預かり保育希望者の数によって、利用希望日に毎回利用できることをお約束できるわけではありません。また、長期休業中（夏・冬）でも園の事情で実施しない日もあります。（春休みの4月は新年度準備のため実施がありません。）

2号相当の就労等の状況で、1号認定として入園される場合、新2号認定を受けることで（別途手続きが必要）、一日450円の上限で利用料が還付される仕組みがあります。詳しくは個別にお問い合わせください。

【1号認定児の保育時間】

	年少・年中		年長
登園時間	8：50～9：10		
降園時間	通常保育	14：00～14：15	14：20～14：35
	午前保育	11：00～11：15	11：20～11：35

※状況によって変更になる場合があります。

職員の保育の質向上のため、基本毎月2回の水曜日を午前保育とします。認定こども園として園内全体での研修の機会がなかなか取れない中で、午前保育によって時間を作り出していくためです。

午前保育・通常保育等の案内は、毎月1日に予定表にてお知らせします。

また、クラスごとに担任から保護者に向けて当日の活動内容の伝達を行う際、混雑を避けるために学年ごとに降園時間には時差をつけています。

【2号・3号認定児の保育時間】

2号・3号認定児の保育時間は、標準時間と短時間の認定に分かれていますが、当園では事由や状況によって施設として保育時間を決定します。各認定における最大保育時間は上記2つに分かれています。

標準時間認定 7：00～18：00 / 短時間認定 9：00～17：00

※保護者のお仕事がお休みの場合には、2号認定児は1号降園時間での迎えにご協力いただきます。3号認定児は基本的には在宅をお願いします。理由があり登園する場合には14:30のお迎えをお願いします。また、特別支援児としての保育認定、産休育休や勤務時間によっては、16：00のお迎えをお願いします。（保護者と相談の上で決定します）これは、普段は保護者とゆっくり過ごす事が難しい2号・3号認定児が、出来るだけ家庭で共に過ごすことを大切にしていきたいという想いからです。

<延長保育>

標準時間認定 18：00～19：00 / 短時間認定 17：00～18：00

<延長保育料>

標準時間認定

18：16～30（300円）・31～45（300円）・46～00（300円）

短時間認定

17：16～30（300円）・31～45（300円）・46～00（300円）

※11時間を超える保育の実施はありません。



【特別支援児の受け入れについて】



あけぼのでは、社会の中に多様な人たちが共に暮らすことは当然であるという考えから、大阪市の「指定園」の認定を受け、障がいを持った子どもたちの受け入れを行っています。入園後は特別支援学級等ではなく、可能な限り通常のクラスの一員として生活をします。ただし、該当の児童を優先的に入園させるわけではなく、通常の入園手続きに則って公平に入園いただきます。また、加配職員配置の関係上、特別支援児の受け入れについては上限を設けさせていただいています。

近年は発達の歪みが指摘されるケースが大変多いこともあり、きちんとした理解を深めながら適切な個別の配慮を元にした援助を行いたいと考えていますので、当初より特別支援の対象となる手帳をお持ちの場合や、お子様の発達について検診の際に指摘のあった場合には、入園前に必ずご連絡ください。親子面接及び入園前体験保育の際にこちらからも確認させていただく場合があります。また、そのような状況で診断がおりていない場合には、関係機関と連携し診断書や各種障がいに応じた手帳を取得し、大阪府・大阪市の特別支援補助金を取得の上で加配人員の人員費、特別支援に関する職員研修などに充てて対応しますので、補助金申請のために各種証明書の取得に対するご協力をいただきますことをご了承ください。特別支援児一人一人の育ちをより良くするために、ご理解いただく必要がございます。

※入園手続きを行った後でも、特別支援児の受け入れ上限を超える場合には入園いただけないことがありますので、必ず事前にお申し出ください。



【乳児の保育について】



乳児の保育については育児担当制及び布おむつの使用が特徴です。育児担当制では、特定の子どもに対して排泄及び食事における関わりを基本担当が行い、この時期に獲得されるべき愛着形成の基礎を築きます。

布おむつについては、紙おむつよりも布おむつが優れているという考え方のもとで導入しているのではなく、排泄に対する大人の関心が紙おむつを使うことで薄れてしまう中、敢えて布おむつを使い常に子どもたちの排泄に関心を寄せられるようにしています。排泄に対する大人と子どもとの関わりを大切にすることで愛着関係を深め、子どもたちは安心感の中で穏やかに過ごすことができるという点を評価し導入しています。

布おむつは0歳児4,450円、1・2歳児3,190円でリースし、保護者の方が洗う必要はありません。おむつが外れた翌月からは、布おむつ代の費用負担はなくなります。



【おひるごはんの提供について】



同じものを友達と食べながら話をし、共感しあうこと。
“食”によって知ることのできる季節。

扱い一つで割れてしまう陶磁器の食器を使うことによって身につくこと。
食事は子ども達の育ちの中で最も大切なものの一つです。1954年にあけぼの幼稚園ができて間もなく、園で作ったお昼ごはんの提供は開始されました。豊かな食事と保育は一体だと考えています。

あけぼのでは給食のことを『ごはん』と呼び、和食を中心としたオリジナルの献立を栄養士が作成し、自園の厨房で調理しています。栄養価の高い8分づきの精米、旬の食材や和食材を積極的に取り入れ、昆布や鰹節などから取ったお出汁を使った温かで風味豊かな味が提供されます。近年、家庭で口にする機会の少なくなった和食材を中心とする幅広い食材に触れることで、栄養価に加えて食への興味の幅も広げたいと考えています。

食物アレルギーにより配慮が必要な場合、基本的には除去等の対応を行いますが、代替品をご用意いただく場合もあります。

ごはんの提供日は、下記の通りです。

- 1号認定児：基本的に週4回提供
(週1回はお弁当日 または午前保育日)
- 2号認定児：週4～5回提供
(月に2回程度お弁当日)
- 3号認定児：月に1度のお弁当日を除いて毎日提供
(行事などにより若干の変更あり)



【ペーパーレス化と育ちの可視化について】



園の方針として、プリントやちらしなどの配布は最小限にし、様々な園生活に関するプリント・資料についてはウェブサイトから確認できるようにしています。スマホ・PCから各家庭でアクセスしていただき、必要に応じて各自でプリントアウトしていただきます。

また、日ごろの子どもたちの様子に関して、幼児は降園の際に各担任と情報共有する時間を作り、その際に伝達します。それ以外に、月に一枚それぞれの子ども写真を使った「ポートフォリオ」という育ちの可視化の手法を通して、保護者の方に子どもたちの育ちを共有していきます。連絡帳などを通した文字のみの育ちの共有は基本行いません。(乳児はハンドブックを通した情報共有あり)



園舎は保育室・職員室や会議室からなる棟と、一階部分が絵本コーナー兼カフェスペース、二階部分が大ホールの棟がつながったコの字型のレイアウトです。保育室と保育室の間にはコーナー遊びが展開しやすいようにスペースが設けられています。また、保育室同士が回廊で繋がり、遊びの様子が異年齢の間で視覚的に共有しやすいようになっており、さらに家具による間仕切りで保育室のレイアウトが自在にとれるように構成されています。また、園庭にも各所に遊びが広がる工夫を散りばめています。



屋上野草空間「空庭」



屋上菜園



プール（夏期仮設）



自由に壁に絵がかける部屋



雨水ポンプ



体幹を鍛える
大型遊具

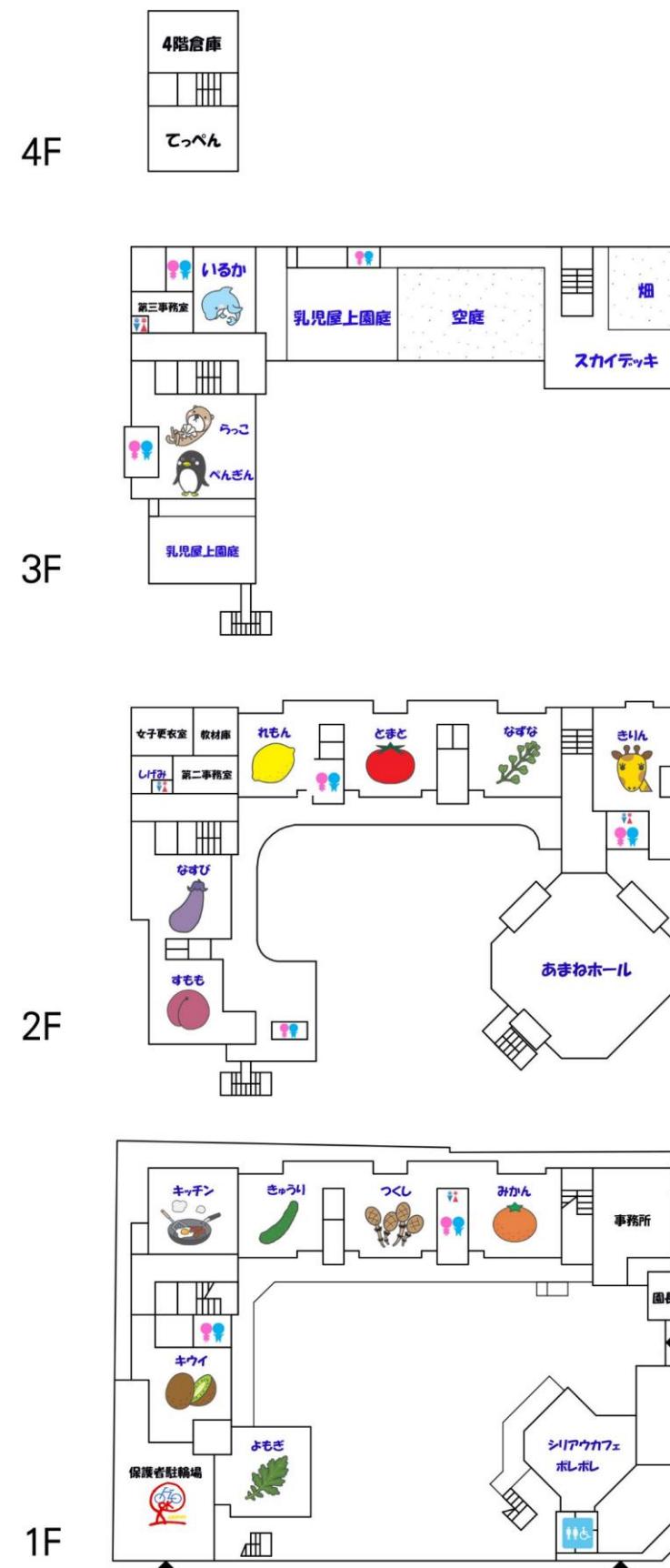


乳児園庭



保育室

※年度によってクラスの配置が変更になることがあります。



新入園に関するご案内

園HPにて随時情報を更新いたします
右記QRコードをクリックまたは読み取りの上ご確認ください



【優先入園枠（1号認定児年少のみ）】

①あけぼのほりえこども園在園児きょうだい優先

対象：2021年度在園児（年長・年中・年少）のきょうだい

②あけぼのほりえこども園卒園児きょうだい優先

対象：卒園児のきょうだい

③元職員優先

対象：あけぼの学園またはあけぼの事業福祉会で勤務経験のある方

申込受付期間：9月1日（水）～9月7日（火）

※期日までにお申し出いただけない場合、優先枠は消滅します

※2号・3号認定児の優先枠はありません

【入園に関する流れ】

1号認定児・2022年度4月入園希望者向け

※2021年7月時点での予定です。
状況により変更となる場合がございますので、最新情報を園HPにて随時ご確認ください。

STEP1 入園願書購入申込フォーム入力

園HPに申込フォームを設けます（2021年9月1日予定）
できるだけ前もってご自宅で入力をお済ませください
入力ができない方は、9月1日以降に園へお越しください

STEP2 【必須】入園願書購入＜窓口にて1部：500円＞

受付期間：9月1日（水）～ ※平日10時～16時

STEP3 入園説明会参加 希望者のみ/完全予約制

開催日時：第1回目 9月 8日（水）13時15分～
第2回目 9月25日（土） 9時15分～
第3回目 " （土）13時15分～

STEP4 【必須】入園申し込み

【入園申し込みについて（1号認定児のみ）】

日時：10月1日（金）

受付時間 午前7時15分～7時30分 ※7時30分最終受付締切

開始時間 午前7時30分（所要時間1時間程度）

場所：あけぼのほりえこども園

※詳細は園児募集要項に記載いたします

- ・入園枠に対して応募者多数の場合は抽選を行います
- ・入園確定後、入園金（50,000円）の納入・入園願書等書類提出

※入園金の納入後、入園を辞退されても入園金の返還はありません。

【入園までの流れ】

<1号認定児（3～5歳児）>

前提：あけぼの学園との直接契約

- ①10月1日に園で手続き
- ②入園確定後、入園金（50,000円）及び願書等提出
各種提出書類・各種資料の配布（後日提出）
- ③各種書類提出及び親子面接・保育観察の実施、用品申し込み
- ④健康診断・用品代納入、用品渡し・体験保育（2月頃実施予定）
- ⑤4月の入園式・進級式後から登園

<2号認定児（3～5歳）・3号認定児（0～2歳）>

前提：大阪市（西区）の利用調整により入園

- ①2号認定の要件を満たすかどうか区役所に確認
 - ②区役所にて利用申し込みを行う
 - ③2月に区役所より入園確定の連絡
 - ④願書等関係資料の送付（園から入園確定した各家庭へ）
 - ⑤入園金（50,000円）及び願書等提出・面接等の実施・用品申し込み
 - ⑥健康診断・用品代納入、用品渡し・体験保育（幼児のみ）の実施
 - ⑦4月から就労に応じて登園
- ※慣らし保育あり

【途中入園申し込みについて（1号認定児のみ）】

2022年4月1日以降に入園をご希望の方は、個別に園までお問い合わせください。定員に空きがある場合のみ、入園手続きについてご案内します。

【入園に関するお問い合わせ】

あけぼのほりえこども園 入園受付担当：キサキ・フジタ
TEL：06-6531-0808（平日10時～16時）
MAIL：horie_entry@akebono.ed.jp

